

コアジサイ (小紫陽花)

仲間分け: パラムアジサイ科

高さ: 1~1.5m

花の時期: 6~7月 花の色: 青紫色

特徴: 葉の表にも裏にも毛が生えている

樹木



ウツギ (空木)

仲間分け: パラムアジサイ科

高さ: 1~3m

花の時期: 5~7月 花の色: 白

特徴: 花にも枝にも毛が多くざらつく



チマキザサ (粽笹)

毎年七月に行われる祇園祭で売られている粽(ちまき)の材料に使われているのがこの笹。雪に強く、群生するので北山などでよく見られます。

近年、獣害で減ってきていることから、保全する取組も進められています。



節に毛が生えてるよ

仲間分け: イネ目イネ科

高さ: 約1~2m

葉の大きさ: 10~30cm

特徴: 咲かせるのは数十年に一度



タンポポの見分け方



草原や川べりで見かけるタンポポ。

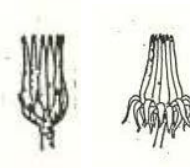
関西一帯の在来種は、カンサイタンポポ。

西洋からきたのがセイヨウタンポポ。

どこを見たら区別できるか観察してみよう。



カンサイタンポポ



セイヨウタンポポ

考えてみよう!

せいぶつたようせい
生物多様性ってなんだろう?

さまざまな草木は、さまざまな形の葉をしています。そして、そこにはそれぞれの草木と深い関係を持つ数多くのいきものがすんでいます。これが生物多様性です。昆虫の成虫や幼虫の中には、葉を食べて生きているものもいます。葉は地面に落ちて積み重なり、ミミズなど小さないきもののかくれがや食料となります。やがてミミズなどのフンもかかれた葉も土にもどり、草木の栄養分になります。このようにいきものたちの命がすべてつながっていくことも生物多様性です。



ケヤキ



イチョウ



ハウチワカエデ



ミスナラ



フナ

京(みやこ)のいきもの発見ガイド

市内の公園や道路沿いの樹木、里山などでセミ、野草

平成23年度

野鳥など身近な生き物を見つけ、報告してください!!

夏版



お寄せいただいた情報をもとに、「京のいきものマップ」を作ります。

本調査が、京都の自然や四季折々の「いのちのハーモニー」を五感で楽しんでもらうきっかけになれば幸いです。

報告はこちら!

・京のいきもの発見ガイド添付のはがきで...

ポストへ投かん



・メールで...

→ k-kyosei@city.kyoto.jp

バーコードリーダーで読み取ってね!



・FAXで...

環境管理課

075-213-0922

ここを
チェック!!

・地面に、セミの幼虫が出てきた穴...
・セミのぬけがらが沢山ぶらさがった木の幹や枝

報告いただきたいこと

- ①見つけたもの(生き物の名前)
- ②いつ(見つけた日時)
- ③どこで(見つけた場所)
- ④メモ(数など)



探そう! セミの抜けがら



	アブラゼミ	ツツクゼミ	ニイニゼミ	ミンミンゼミ
大きさ	56~60mm	30mm 前後	20~24mm	33mm 前後
鳴き声	ジリジリ	チツチツ	デー...ジー...	ミンミン
特徴	クマゼミより小さい。夜鳴きもする	松林が好き	小さくて丸い。全身に泥をかぶっている	横の長さが短い頭と太く短いおなか
	シマゼミ	ツツクボウシ	ヒゲナシ	
大きさ	60~70mm	30mm	21~38mm	
鳴き声	シャーシャー	ツツツツ	カナカナ	
特徴	頭が大きく、まち中に多い	抜けがらに光沢がなく、細長い	日の出前・日の入り後よく鳴く	



鳥 アオバズク (青葉菟)

6月~8月にかけては、子育ての時期。

親がヒナに与えるえさは、消化しやすいところだけ。

親鳥が落とした翅などから、昆虫の種類もわかります。



仲間分け: フクロウ目フクロウ科

大きさ: 約30cm 翼を広げると70cmにもなる。

体の色: 頭から背中がこげ茶色。ひとみの回りと足が黄色。

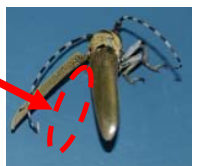
食べ物: セミなどの昆虫からネズミなどの小型哺乳類など見られる場所: 巨木のある雑木林など林内

季節: 夏 (5月~9月)

クイズ



カミキリのおなかの部分は、
どうなったのかな?



答え: カミキリのおなかの部分は、

クワカミキリ

本ガイドは、京都精華大学教授 板倉豊氏に監修いただきました。

取り上げた生き物は、下記の方々にご紹介いただきました。

岡本圭司, 片山雅男, 河合嗣生, 谷幸樹, 谷幸三, 塚本珪一, 鳥居万恭, 中村剛, 西台律子, 藤井延郎, 藤井肇, 寺本典子 (鳥のイラスト製作)

平成23年6月発行 京都市印刷物 第234179号

鳥のものさし ～野鳥の大きさを知ろう！～

大きさとは、くちばしの先から尾の先までの長さのこと

→ **スズメ** (14 cm) より小さいか、大きい

↓ **ムクドリ** (24 cm) より小さいか、大きい

↓ **ヒヨドリ** (27 cm) より小さいか、大きい

↓ **キジバト** (33 cm) より小さいか、大きい

→ **ハシブトガラス** (56 cm) より小さいか、大きい



ツバメ (夏鳥)

大きさ: 17cm

オスの方が尾が長い。

水面をすれすれに飛ぶ。

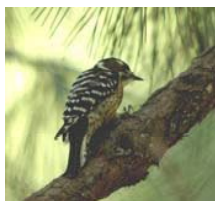


シジュウカラ (留鳥)

大きさ: 15cm

ほおが白い。おなかに

ネクタイのような模様。



コゲラ (留鳥)

大きさ: 15cm

木をコンコンとつつく。

背に白い横しまがある。

観察のポイント！



この時期(6月～9月)は、夏鳥や留鳥が見られます。

☆留鳥: 1年中見られる鳥。中には移動する鳥も。

☆夏鳥: 春に日本より南から子育てのために渡ってきて、秋に帰る鳥。

鳴き声や、羽の色合い、

えさの食べ方を見てみよう。

ちが
違うのはここ！

鳴き声

体の色や模様

えさやえさのとり方

飛び方

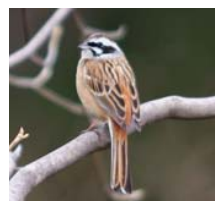
歩き方



キビタキ (夏鳥)

大きさ: 14cm

胸からおなかにかけての黄色が目立つ。



ホオジロ (留鳥)

大きさ: 17cm

顔の白黒が目立つ。

「チチツ」と鳴く。



オオルリ (夏鳥)

大きさ: 16cm

おなかは白く、背中

は青く、美しい。



カワガラス (留鳥)

大きさ: 22cm

水底にすむ昆虫

などを捕える。

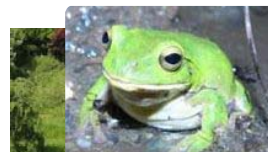
田んぼのいきもの

日本人の主食のお米が作られる場所、それが田んぼ。

水をはった田んぼには、たくさんのいきものが集まってきます。

小さい頃は水の中で過ごし、田んぼの畦で変身するカエルやトンボなどにとっては大切な場所なのです。小さな魚や昆虫などを求

めて、サギなどの鳥もやって来ます。



シュレーゲルアオガエル



アマサギ



ドジョウ



アメンボ



マツモムシ



アカハライモリ

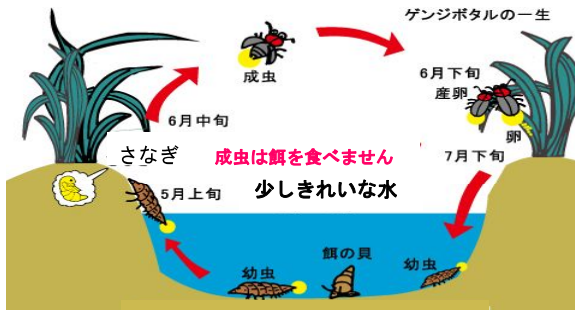


タニシ



メダカ

ホタル



仲間分け: コウチュウ目ホタル科 大きさ: 数mm～20mm

食べ物 (幼虫): カワニナ・タニシ 見られる場所: 川など水辺

季節: 夏 (5月～7月)

ゲンジボタル (源氏蛍) とヘイケボタル (平家蛍)



ゲンジボタル



ヘイケボタル

どこが違うの？

大きさ

1.5～2cm

1cm

光の強さ

強い

弱い

光る回数

2～4秒に一回

1秒に1回

メモ (どこで見たか記録しよう)

樹林地にいるよ



ヒメボタル

山からまちへ

山の中を流れる川と
まちなかを流れる川、
見られるいきものは
違うよ。

冷たい水が好き

おなかですいたな
下流にいてみよう



アマゴ



アオサギ

きれいな水がいいな



コイ



カワニナ



サワガニ

あったかい所
がいいな

流れのゆるやかな
ところにいるよ

アマゴ

仲間分け：サケ目サケ科

大きさ：35cm～50cm



体色：きれいな朱色^{しゆいろ}のはん点
がある。

産卵の季節：冬



特徴
鼻が少し曲がってる

仲間分け：キュウリオ目アユ科

アユ

大きさ：10cm～30cm

体色：初夏頃は灰色がかった緑色 秋はオレンジ色

食べ物：藻類(ケイソウ)等。川底の石にわかりやすいかみあとがある。

川の石をひっくり返してみよう！



川のせせらぎにある石を一つ手にとって、
ひっくり返してみよう。何がでてくるかな？

スジエビ

仲間分け：エビ目テナガエビ科

大きさ：35mm(オス)50mm(メス)



体色：ほぼ透明 産卵の季節：初夏(6月頃)

特徴：夜に活発に動く。昼は石の下や水草の中
にかくれています。

コオニヤンマ(幼虫・ヤゴ)

仲間分け：トンボ目サナエトンボ科

大きさ：10～30mm 体色：こげ茶色



特徴：体が平たく木の葉に似ている。後ろ脚^{うしろあし}が細長い。

見られる季節：年中(幼虫), 5月～9月(成虫)



ほかにも
見つげられる
いきものは
いっぱい



カワゲラの幼虫



カワニナ

果物とハチ



花粉

イチゴやスイカなどの果物と、ハチは深くつながっています。

ハチは、花から蜜^{みつ}を採取し持ち帰るだけでなく、
植物の受粉を助けてくれています。

働きバチは花粉を集めるために、後ろ脚^{うしろあし}が平らで、
周りに毛が生えているので花粉を包むことができます。



マルハナバチの一種



ニホンミツバチ

(働きバチの場合)



セイウミツバチ

黒っぽくみえる	胴	お尻の黒いしまが太い
黒っぽい	おなかの色	黄色っぽい
10～13mm	大きさ	12～14mm
約19日	寿命	約21日
おとなしい	性格	こうげきてき 攻撃的
約スプーン1杯分	一生で集める蜜 ^{みつ} の量	約スプーン5杯分

セイウミツバチは、多くの蜜を集めるので、ハチを飼育する人が好みます。



ハチアブ

アブと違うのは翅^{はね}の数。
ハチの翅は4枚。アブは2枚

ツリフネソウ

(草花)

仲間分け：フクロソウ目ツリフネソウ科

大きさ：50～80cm

花の色：赤紫色 花の時期：6月～10月

見られる場所：水辺など少し湿^{しづ}った薄暗い場所

特徴：種^{しゆく}が熟すと、はじけて飛び散る。花が船をつり下げたような形



ササユリ

仲間分け：ユリ目ユリ科

花の大きさ(直径)：10～15cm

花の時期：6～7月

花の色：白、うすいピンク色

名前の由来^{ゆらい}：葉が笹に似ているから



ミゾソバ

仲間分け：タデ目タデ科

花の大きさ(直径)：4～7mm

花の時期：6～7月 花の色：あわい
淡いピンク色

名前の由来：そばの花に似ているから



仲間分け：キク目キク科

大きさ：高さ0.5～1m

花の時期：5月～8月

見られる場所：明るい草地や河原など

特徴：葉の表面に毛が生えている

ノアザミ

五感で探そう！

★においをかいでみよう

★きいてみよう



ミンミンゼミの鳴き声

★さわってみよう



カジノキの葉



クサギの葉と花

★たべてみよう



カワの実

★みつけてみよう

どんな足あとか観察したら、
何がいたのかわかるかも・・



ホンシュウジカ



全体的に細長い
先端はとがっている



ホンドキツネ



梅の花みたいな形
爪のあとがはっきり



イノシシ



大人か子供か、
オスかメスかで違う



ニッポンアノグマ



穴掘りよの長い爪が
足あとにも残っている。



ホンダヌキ



4 cm くらい。爪あとが
くっきりしている



ニホンノウサギ



後足が前足より大き
い。びっくりマーク
(!) のような形。

ミヤマカラスアゲハ



食べもの(幼虫): キハダ・カラスザンショウ

時 期: 6月~10月 場所: 谷沿いの林など

特 徴: 青緑色の美しい翅を持ち、水辺を好む。

ウスバシロチョウ



食べもの(幼虫): ムラサキケマンなど

時 期: 5月~6月 場所: 明るい草地など

特 徴: 翅がすきとおっている。

ハネナガイナゴ

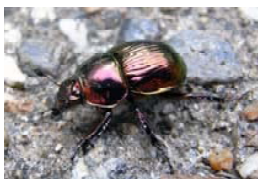


食べもの: イネ科の植物の葉

時 期: 7月~11月 場所: 田んぼなど

特 徴: 翅が長く後ろに突き出ている。

オオセンチコガネ



食べもの: 動物のフンなど 大きさ: 約2cm

時 期: 6月~11月

特 徴: 色が美しく地域によって異なる。

アキアカネ



食べもの(幼虫): ミジンコなど

時 期: 7月~11月 場所: 田んぼなど

特 徴: 季節によって生活の場所を変える。

ハゲロトンボ



写真提供: 小野 隆久
食べもの: 小さな昆虫など

時 期: 5月~10月 場所: 水辺など

特 徴: 金属のように光る黒い翅を持つ。

森のこと

おひさまの光をあびて、

木はすくすく育ちます。木

が林に、林が森になってい

きます。花を咲かせ、実が

なるたびに、鳥や昆虫など

いろいろな生きものが集ま

ってきます。

雨を地中にためて、洪水

などの災害から守ってくれ

ます。水をきれいにしてく

れます。全てのいきものに

とって大切な環境です。



郵便はがき

料金受取人払郵便

中京支店
承認

2070

差出有効期間
平成24年3月
31日まで

6 0 4 8 7 9 0

777

京都市中京区柳馬場通御池下ル
柳八幡町65番地朝日ビル4階

京都市環境政策局環境企画部
環境管理課 行

カラスアゲハ



ネムノキ



見つけたもの (生き物の名前)	いつ (日 時)	どこで (場所)	メモ
	月 日 時		
	月 日 時		
	月 日 時		
	月 日 時		

お名前:

所属(学校など):

